

教職課程の教育目標と カリキュラムの編成方針

1. 教職課程の教育目標

本学の教職課程は、中学校や高等学校の教員を養成するための課程である。教育改革が叫ばれる今日、教員の資質能力の向上が特に大きな課題となっている。そのため、以下の点に重点をおきながら、全学的な協力・指導体制のもとに、高度な資質能力をもつ教員の養成につとめる。

(1) 教員にふさわしい豊かな人間性の育成

教育の対象は人間である。そのため、人権を尊重し、人の喜び・悩みや不安をともにし、人間の成長に主体的にかかわる情熱や使命感が必要となる。このような能力に裏づけられた豊かな人間性を育むことを目指す。

(2) 教員に求められる専門性、実践的指導力の育成

教員としての職責を全うするには、様々な課題をもつ子どもと向き合い、具体的かつ効果的な指導や援助ができなければならない。そのため、工業大学としての本学の特色を活かし、各学部・学科において養われる専門性と、教職課程において養われる教え育てる技術とを有機的に関連づけ、高度な専門性と実践的指導力とを備えた教員の育成を目指す。

(3) 教員としての資質能力を持続的に向上させる自己教育力の育成

教員は、教職に就いた後も自己を教育者として、また人間として、生涯にわたって学び高めていく必要がある。このような生涯学び続ける努力を可能にする自己教育力の育成を目指す。

2. 教職課程のカリキュラム編成方針

1年次対象として、学校の使命や教員の職務、子どもの発達と学習など、教員として必要な教育観や人間観の基礎を形成するための科目を開講する。

2年次対象として、教員としての専門的な知識と技能を総合的に高めるための科目を幅広く開講する。

3年次対象として、実践的な教科指導力ならびに生徒指導力を身につけるための科目を開講する。

4年次対象として、それまでの学習内容を学校現場で実践するための「教育実習」、ならびに、教職課程の総仕上げとしての「教職実践演習」を開講する。